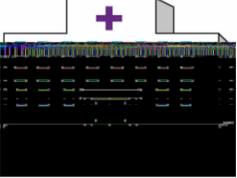


No.94経尿道的前立腺肥大症の手術(TUR-P)を受けられる方へ

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

経過	入院日・手術前日		手術当日前	手術当日後	手術後1日目	2日目	3日目～	退院前日	退院日
月日	/		/	/	/	/	/	/	/
治療・処置	リストバンドを装着します。常用している薬がありましたら、お知らせください。入院中の内服薬について確認します。確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。	21時に下剤を飲みます。 眠れない時は遠慮なく看護師にお知らせ下さい。	← 平日、8:30～9:00頃に医師の回診があります。静かにお部屋でお待ち下さい。 →						
検査・測定	身長・体重測定と検温をします。		手術は : 頃～です。 手術時間は当日の状況により変更になる場合があります。看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。	酸素マスクを帰室3時間後までつけます。手術中から点滴が始まり、手術後2日目の夕方まで続きます。血栓予防の機械を足につけます。	血栓予防の機械をはずします。常用していた薬を再開します。	抗生剤終了後、点滴を抜きます。		退院後のお薬のある患者さんは退院時お渡しします。	
食事	昼食から食事ができます。食事の内容・形態・量など変更が可能ですので、ご相談下さい。	21時以降禁食です。医師から経口補水の許可のある方は翌日指示された時間まで飲水ができます(別紙参照)	帰室4時間後から飲水(水かお茶)ができます。	手術後に検温を必要時行います。	起床時採血をします。1日3回検温をします。	1日2回検温します。		1日1回検温をします。	
清潔	シャワーに入ってください。				シャワーに入れます。看護師に声を掛けて下さい。				
排泄			手術後尿の管が入ります。止血の為に管を引っぱって足にテープで固定しているので、管を固定している側の足は曲げないで下さい。	医師の診察後、尿管を固定しているテープをはがします。		排尿の状況をみて医師の判断で尿管を抜きます。			
活動	特に制限はありませんが、長時間病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			翌朝までベット上安静です。	医師の診察後、歩行が可能となります。	長時間病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			
患者・家族の皆様への説明等	主治医より手術の説明があり、同意書をお渡しします。署名し看護師へお渡しください。看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院のご案内にも同様の内容が記載されています。)手術に必要な物品を確認します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">準備するもの ・寝衣 ・テープ式紙おむつ1枚 ・必要時、リハビリパンツ・尿取りパットをご用意ください</div>	手術の前に排尿を済ませ病室でお待ちください。入れ歯、時計、めがね、指輪、かつら、ウィッグ、セーフティーボックスの鍵などの金属類を外しておいてください。寝衣のまま歩いて手術室へ行きます。手術に持参する物品は担当看護師に御確認ください。	手術後、主治医より説明があります。(後日になる場合もあります。)手術後、痛みや苦痛があるときは、鎮痛薬の注射か坐薬を準備しています。我慢せずお知らせください。当日面会制限はありません。手術中、ご家族の方は4階手術室の家族控室でお待ちください。	水分は多めにとって下さい。1日1～1.5Lくらいが目安です。水分を多めに取り、尿を出すことが、排尿時痛・血尿の改善・感染予防に有効です。	尿管が抜けた後、排尿量と尿色チェックするため蓄尿して頂きます。	退院後の日常生活の注意事項を説明します。	退院の手続きと、次回外来の説明をしますので、9時以降にナースステーションにお越しください。入院のご案内の中にあるアンケートにご協力ください。		

手術後の経過は、個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。

※この用紙は入院時にご持参下さい。